

いしかわ

65

2016 Winter

NPOニュース

特集 つくる・ささえる「まちの居場所」

- いしかわの非営利団体を紹介します
小松サマースクール実行委員会
特定非営利活動法人アグリファイブ
- インフォメーション



役員に変更があった場合は届出が必要です。

NPO法人の役員(理事及び監事)が、任期途中で交代した場合はもちろん、引っ越しなどで住所が変わった場合や、任期満了後に同じ人物が再任された場合なども県に届け出る必要があります。

届出が必要になる変更内容

- ①新任 ②再任 ③任期満了 ④死亡 ⑤辞任(任期途中で自ら役員を退くこと) ⑥解任(任期途中で総会の議決等で辞めさせること) ⑦住所又は居所の変更 ⑧改姓又は改名

届出に必要な書類

- ①役員の変更等届出書 ②変更後の役員名簿 ③就任承諾及び誓約書の謄本(新任の場合) ④住民票(新任・住所変更・改姓・改名の場合)
※住民票は市町の窓口で交付された書面をそのまま提出すること(コピー不可)

届出の様式は、[あいむのホームページ](http://www.ishikawa-npo.jp)でダウンロードできます。

(アドレス)<http://www.ishikawa-npo.jp/yousik/list-ninsyou.htm>

※トップページ(<http://www.ishikawa-npo.jp>)の上部にある「NPO法人の申請様式」をクリックしてください。

(提出先)石川県NPO活動支援センターあいむ

〒920-0961 金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階

TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559 メール:npo@pref.ishikawa.lg.jp



「あいむ」は石川県NPO活動支援センターの愛称です。「あいむ」にちなみ、「i」と「m」という文字と、石川県の「石」の文字が、拳をあげて自らの意思を持って行動する市民をイメージしています。

つくる・ささえる「まちの居場所」

今、「地域の人たちが交流できる場所を作りたい。」「難病で悩んでいる人がほっとできる居場所をつくりたい。」「孤食の子どもたちに温かなごはんを食べさせたい。」などといった様々な思いをかたちにする「まちの居場所」づくり活動が盛んになっています。

そこで、今回は、「まちの居場所」づくりのポイントを、実際の活動事例とともにご紹介します。

事例紹介させていただく居場所はこちらです

コミュニティハウスひとのま (団体名称:ひとのま)

高岡市内にある、不登校の生徒を中心とした、誰でも立ち寄ることができる居場所です。

所在地:富山県高岡市東上関389 TEL:0766-54-5880
ホームページ:<http://hitonoma.net> メールアドレス:terakoya_miyata@yahoo.co.jp
フェイスブック:<https://www.facebook.com/hitonoma.takaoka.jp>

元ちゃんハウス (団体名称:特定非営利活動法人 がんとむきあう会)

金沢市石引にある、がん患者がありのままで過ごすことができる居場所です。

所在地:石川県金沢市石引4-4-10越屋メディカルケアビル TEL:076-232-5566
ホームページ:<http://gmk.or.jp> メールアドレス:gmk2013@gmail.com
フェイスブック:<https://www.facebook.com/gmk20>

かなざわっ子nikoniko 倶楽部 (団体名称:特定非営利活動法人 ささえる絆ネットワーク北陸)

金沢市新神田にある子ども食堂です。リサイクルショップが併設されています。

所在地:石川県金沢市新神田4-4-5 TEL:076-218-4005
ホームページ:<http://nikonikokurabu.jimdo.com/>
フェイスブック:https://www.facebook.com/かなざわっ子nikoniko_倶楽部-100742133697614

ポイント1 どんな場所で開催するか

持ち家、借家、空き店舗、公民館、公園など、集まる場所にはいろいろな選択肢があります。やりたいことや集めたい人をイメージして、どんなところなら人が集まるかを考えましょう。看板を立てたり、玄関を開放して中の様子が見ええるようにして、入りやすい雰囲気づくりを心がけることが大切です。居場所をつくる人にとって、場所の確保は大きな悩みのタネですから、もし、あなたが持っている自宅のスペースの一部や、空き家、空き店舗などを貸したり提供してもよいとお考えなら、ぜひ申し出てみてください。きっと喜ばれるはずです。

あなたのところは？

コミュニティハウス ひとのま	借家です。知り合いの口コミがきっかけでしたが、所有者の方にご理解をいただき、駐車場も格安でお借りすることができました。駅が近くて通うのに便利で、大きなお寺がそばにあるので、 初めての方にも場所を伝えやすい 利点があります。	
元ちゃんハウス	以前はメンバーの自宅を使っていました。落ち着けて、準備もしやすかったのですが、スペースが狭く、駐車場の確保が課題でした。自宅にいる子どもが活動に興味を持って、自分からお手伝いをするようになったのは嬉しい影響でした。 自宅の場合、家族の理解をしっかりと得る必要がある と思います。現在は会社のビルだった建物で活動していますが、近くに大病院があり、受診が終わった患者さんが帰り際にふらりと寄ってくださります。立地が最高です。	
かなざわっ子 nikoniko 倶楽部	3階建ての貸事務所です。所有者の方に「子ども食堂を開きたいが賃料はこれだけしか払えない」と事情を説明した手紙をお送りしたところ、ご厚意で低廉な額でお借りすることができました。 職場の隣の建物ですので、管理がしやすく助かっています。	

ポイント2 どのくらいの頻度で開催するか

毎日やっていて、好きな時に訪れることができる場所もあれば、毎月または毎週1回定期的に開催しているところもあります。

活動をささえるスタッフの状況や、使える資金、集めたい人の生活リズムなどを考えて、無理のない回数や時間で開催しましょう。

あなたのところは？

コミュニティハウス
ひとのま

居場所は誰にでもいつでも解放していますので、皆さん好きな時に来て、好きな時に出ることが出来ます。

元ちゃんハウス

月曜日から金曜日の午前11時から午後3時まで開いています。**病院で受診を終えた方が寄りやすい**時間帯です。他に、金沢マギーを第2・4火曜日の午後1時から4時、まなびの教室を第1土曜日の午後2時から4時に開催しています。

かなざわっ子
nikoniko
倶楽部

子ども食堂は、第1・3木曜日の午後5時半から午後8時で開いています。
(倶楽部としては平日は午前9時～午後5時、土曜日は午後1時～5時で開いています。)

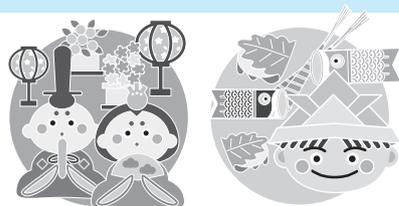
ポイント3 どんなことをするか

あまり決め事を作らないで、気兼ねせずゆったりと過ごせる場を提供することも一つの方法ですし、魅力ある企画プログラムで、参加者に楽しんでもらうことも一つの方法です。

おしゃべりが好きな方は話し相手として、料理が好きな方なら食事やおやつを提供の手伝いをするなど、参加者自身が趣味などを活かしてプログラムの講師になることも考えられます。参加者の意思を尊重して、よく相談して決めましょう。

企画プログラムの例

- 季節ごとの行事
- 健康体操
- 手芸や手作り品の作成
- 食事会・お茶会
- 伝統的な遊び
- レクリエーションゲーム
- 映画鑑賞
- 園芸
- 音楽会やマジックショー



あなたのところは？

コミュニティハウス
ひとのま

一枚紙を置いて、やりたいことをそこに書いてもらい、同意する人が一人でもいたらドンドン実行する、ということをしていました。すると「こんなこともやっていいんだ」と皆が積極的になっていき、今では紙も必要なくなり利用者にお任せでやっています。利用者自らが県外から講師を呼んで講演会を企画したり、居場所で洋服直しの仕事を始めたり、いろんな試みが生まれています。



元ちゃんハウス

常設していることが何より大切ですので、**利用者が安心して過ごしていただけるような雰囲気づくり**をしています。また、場合によっては個別相談やがんに対する啓発をしています。



かなざわっ子
nikoniko
倶楽部

リサイクルショップを併せて開催し、子どもだけではなく、保護者の興味も引くことができるようにしています。また、子ども食堂のスペースを利用してパッチワーク教室や水引体験教室を開き、**私たちの活動を知ってもらうきっかけづくり**に努めています。



ポイント4 参加者をどうやって集めるか

居場所をついたら、その存在を知ってもらいましょう。
お金をかけないPRの仕方は、意外とたくさんあります。

口コミ

ご近所の方、友人、知人など来てほしい方に直接伝えて、口コミを広げていくことは非常に効果的です。



回覧版

町内会の協力を得られれば、回覧板を利用して、チラシや会報誌などを回してもらえられるかもしれません。



チラシ

手描きのもので十分ですので、必要な情報を盛り込み、来てほしい方への手配りやポストへの投稿などをしてみましょう。



SNS等

フェイスブック、ブログ、ツイッター、ホームページなど、インターネットを使ったサービスを使うことで、無料で、たくさんの人に情報発信することができます。

どんな居場所であれ、存在を知ってもらうことは本当に大変ですから、近所のお知り合いの方や、ほかの集まりのメンバーに口コミするだけでも効果が期待できます。

イラストを描くのが得意、パソコンが使えるという方がいれば、チラシづくりやホームページの作成などに大いに力を発揮していただけるでしょう。

あなたのところは？

コミュニティハウス ひとのま

東日本大震災で避難されてきた方の受け入れを始めたことがきっかけで、マスメディアに取り上げてもらったことが大きかったです。後は、やはり口コミが重要で、チラシを作って宣伝したことは一度もありません。

利用者、利用者の家族、スクールカウンセラー、行政の福祉部署など、いろんな方々が口コミで広げてくれました。フェイスブックは活用しています。



元ちゃんハウス

活動が本格的にスタートするまでに関わってくださった多くの方が口コミをしていただきました。また、利用者が「あそこに行ってよかったよ」「行ってきたら」と他の方に声をかけていただいたことも大きいです。

また、町内会にご協力いただき、公民館にリーフレットを置いていただいたり、回覧板でチラシを回したりしてもらうこともありました。フェイスブックも活用しています。



かなざわっ子 nikoniko 倶楽部

町内会の役員の方や地元の議員の方に活動内容をお話ししたところ、口コミやフェイスブックなどを通じていろんな方にご紹介くださり、人の輪が広がっていききました。地域の方に対しては、回覧版も活用させていただきました。

また、リーフレットなどを作成して、学校の許可を取った上で、校門前で登校中の生徒に配布しました。フェイスブックなども活用しています。



ポイント5 資金をどうするか

家賃・光熱費・食材費・消耗品費など、運営にかかる費用をどのようにまかなうか、事前によく検討しましょう。ボランティアとして手伝ってもらったり、寄附をもらったりすることができれば理想ですが、場合によっては、会費や参加費をいただくことも必要になるかもしれません。

【運営にかかる主な費用の例】

- 会場：家賃、会場借上費、光熱水費など
- 飲食：食材、茶菓子など
- 連絡：印刷費、郵便代、電話代など
- 研修：研修費
- 保険：ボランティア行事用保険等の保険料
- その他：消耗品費、備品代など



あなたのところは？

コミュニティハウス ひとのま

中学生までの子どもの利用については、利用状況に合わせた月謝をもらっています。高校生以上の方の利用は、1日300円です。おかげさまで、多くの方が利用してもらっていますので、収支は成り立っています。

主な経費は、借家と駐車場の賃借料、水道光熱費です。食費については、多くの方がご好意で食材を持ってきてくださるので、それほどかかりません。

元ちゃんハウス

利用は基本無料です。がんのために重い医療費の負担がある方が利用者ですので、お金はとれないと思っています。寄附や賛助会員の会費で支えていただきながら、各種の助成金を活用し、費用をまかっています。

スタッフはボランティアです。

かなざわっ子 nikoniko 倶楽部

高校生以下は無料です。大人からは300円いただいています。スタッフはボランティアです。これまでは法人の蓄えで運営してきましたが、今後どうやって賃料や水道光熱費をまかっていくかは課題となっています。



その他の注意点

●ボランティア活動保険

活動中のケガや物損事故などに備えるため、ボランティア活動保険に加入しましょう。加入についてのお問い合わせは、最寄りの市町社会福祉協議会までご連絡してください。

●食品衛生管理

食事などを提供する場合は、食品衛生管理者の設置などの必要がないかを最寄りの保健所に確認してください。

最初から全てが整っている必要はありません。
まずは始めてみて、みんなと一緒にどうすればいいかを考え、
よりよい居場所に一步一步近づけていきましょう。

特定非営利活動法人 アグリファイブ

代表者／洲崎 邦郎

【所在地】石川県金沢市北安江2-1 1-30 【携帯電話】090-3294-7353

【E-mail】susaki @raccolto-ishikawa.com 【フェイスブック】<https://www.facebook.com/agrifive/>



消費者と生産者をつなぎ、共に支え合うコミュニティを創り、農業の未来を切り開く

石川県には、食の安全を大事にしながら、美味しくて質の高い農作物を作っている生産者や、もっと消費者の声を聞きたいと思っている生産者がたくさんいます。しかし、そのことを皆さんに知っていただく機会はなかなかありません。また、せっかく一生懸命良いものを作っても、流通させるには一定の規格に適合しないとイケませんので、皆さんにお届けできないこともあります。

そこで、アグリファイブは、生産者と消費者が交流し、思いを伝え合うことのできる場を提供することを通じて、生産者と消費者が共に支え合うコミュニティを創り、農業を活性化し、可能性を切り開いていきたいと考えています。

活動内容 つくる人と食べる人を結ぶ交流ツール「ごちそうさま〜ず」



マルシェ

- ◎ 月1回開催
- ◎ 会場：県内のスーパーなど
- ◎ とれたての旬の作物を直接販売しています
作り手が販売員ですので、聞きたいこと、気になることはどんどんおたずねください
- ◎ 他の団体が主催のマルシェにも参加しています



食談会

- ◎ 年4回開催 ◎ 定員30名 ◎ 会場：和洋中のレストランなど
- ◎ 参加者においしい旬の食べ物を味わってもらいながら、その食材にこめられた思いを、作り手自身に語ってもらうことで、お互いの理解と交流を深めるイベントです



勉強会

- ◎ 年3回開催 ◎ 定員30名 ◎ 会場：貸会議室、レストランなど
- ◎ 県内外のバイヤーや作り手などを講師に招き、作物の栽培方法・料理全般・食文化・食の流通・地域での作り手の関わりなど、幅広く食について学べます



料理教室

- ◎ 年3回開催 ◎ 定員20名
- ◎ 和洋中のシェフに、旬の野菜や西洋野菜、魚介類などを家庭でも簡単に調理できる方法を教えてもらいます
- ◎ 生産者も参加し、自分の農作物がどう調理されているかを学びます



産地見学

- ◎ 年2回開催 ◎ 20名程度
- ◎ 旬の時期に県内の生産者の菜園を訪問し、収穫体験や栽培技術などを学習する。

「誰が」「どこで」「何を」作っているかを情報発信し、旬をお届けしたい

もっと皆さんに生産者を身近に感じてもらえるように、今後、積極的に情報発信をしていきたいと考えています。例えば、誰がどこで何を作っていて、今の旬は何なのかが分かる「生産者マップ」を作成し、インターネットに公開したり、旬の作物を「アグリファイブセレクション」といったかたちで、全国の方にお届けしたりといったことができればと思っています。

小松サマースクール実行委員会

代表者/ステファン・フシェ

【所在地】小松市福乃宮町1-36

【E-mail】komatsu.ss.info@gmail.com 【フェイスブック】小松サマースクール

【HP】http://www.komatsu-ss.org 【インスタグラム】komatusummerschool



「学校」「世代」「国境」の壁を越えた交流を通して 高校生の視野を広げ、将来を思い描く「きっかけ」を作っていきたい

小松サマースクールは、米プリンストン大学、ハーバード大学をはじめとした世界中の大学生と、日本中の大学生が共に築く、高校生を対象とした**六泊七日の高校生向けサマースクール**です。

期間中は、高校生が、アメリカの大学生やバイリンガルの日本の大学生とともに、ハウスと呼ばれる一つのグループを作り、共に同じ宿に泊まり、議論を交わし、語り合います。

その中で、様々な価値観に触れると同時に、自分を見つめ直し、未来に思いを馳せる体験をしてもらいたいと考えています。

多様な価値感と出会い、多角的な視点と、自分で考え、選択する力を身に着ける



日米の大学生がそれぞれの専門をもとにした授業を提供します。高校生は自分自身の興味に応じて授業を選択します。授業は基本的に英語で行います。事前課題・議論・プレゼンテーションをこなしていく中で、積極的にリベラルアーツ(*)を学び、知的好奇心を大いに育むことができます。



雲の上の存在ではなく、身近なロールモデルとなるような、諸分野で活躍されている社会人の方々を招き、高校生が夢や希望を抱けるような生き生きとした講演を、対話を多く取り入れながら行います。後半にはさらに近い距離で自由な対話ができる交流会を行います。



外の世界ばかりに目を向けるのではなく、自らのアイデンティティを知ることが大切です。「歌舞伎メイク」「九谷焼絵付け」「和菓子作り」などの小松市の誇る伝統文化を体験することで、日本らしさを再発見することができます。



年齢・性別・仕事・環境もバラバラな社会人・大学生・高校生が一堂に会し、分け隔てない自由な対話を繰り広げます。気軽な話から真面目な話まで、様々な角度からの刺激を通じて、自分の殻を打ち破り、いままでとは違う新しい自分に出会えます。

※リベラル・アーツとは？…ラテン語の[libertas(自由)]と[ars(教えることができる事柄)]を組み合わせた、『ars liberalis』の英語直訳。広義には、自立した人間として生きていくための、物事を理解し、考え、選択する力のことです。決められた枠やルールの上をただ歩むのではなく、「自分の人生とは何か？」という問いに正面から向き合い、自分の道をひらいていく力を養います。

社会にインパクトを与え、 地元の方にさらに応援してもらえるような存在になりたい

スクールに参加した高校生は、みんなそれぞれに確かな手ごたえをつかんでいます。そして、高校生と語り合った大学生もまた、共に学ぶ喜びを感じ、新しい自分を発見しています。

情報発信をさらに進め、私たちの活動の意義を、より多くの方に知っていただき、社会に良い影響を広めていきたいと考えています。

また、地元の方にもっと応援してもらえるような取り組みをしっかりと行っていききたいと思います。



多様な価値観と出会い、「自分の人生とは何か？」という問いに正面から向き合い、自分の道を切り開いていきましょう！

INFORMATION

新しく認証した特定非営利活動法人(平成28年10月1日～12月31日)

認証日	法人名称	主たる事務所の所在地	主な活動の種類
H28.10.13	奥能登ささゆりミーティング	鳳珠郡能登町上町8字239番地	農山漁村又は中山間地域の振興
H28.10.31	世界遺産プレアヴィヒア・モノづくりの会	金沢市藤江北1丁目418 ハイウェステリア103	観光の振興
H28.12.9	い〜じい〜ねっと	金沢市古府2丁目50番地	保健、医療又は福祉の増進
H28.12.26	HOT	金沢市円光寺3丁目2番3号 クリオ円光寺0101号	保健、医療又は福祉の増進

平成28年度 NPO運営支援事業(専門家派遣)

事業活動や法人運営に課題を抱えるNPO法人に対して、将来展望を踏まえたコンサルティングができる専門家を無料で派遣します。

支 援 対 象: 石川県内に主たる事務所があるNPO法人
ただし、次のNPO法人は対象から除きます。
①NPO法に定められた義務を怠っているもの
②過年度に専門家派遣を受けたことがあるもので、かつ、申請の目的、希望する支援・助言の具体的内容が、直近の派遣時の内容と重複すると認められるもの

派遣する専門家: 中小企業診断士、税理士、中間支援NPOなど。

利用回数及び時間: 1法人原則2回。1回あたり3時間程度。

利 用 方 法: まずは下記お問い合わせ先にご連絡ください

※希望する支援の内容によっては専門家の派遣を行えない場合があります。

お 問 合 せ 先: 石川県県民文化局県民交流課 自主活動推進グループ

電 話 076-225-1365 F A X 076-225-1363

メール E130500c@pref.ishikawa.lg.jp

詳しくはこちら→<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/npo/280711unei.html>

モリモリできるNPOきりもりセミナー (H28石川県NPO起業促進講座開催事業)

講義の流れ ① ホップ ガイダンス ② ステップ ワーク ③ ジャンプ クリニック

講 師

中山雅人 税理士(NPO会計税務専門家ネットワーク理事)
青海康男 i-ねっと代表(NPO法人会計基準協議会委員)

種 類	講 師	日 時	主 な 内 容
できた！ 活動計算書	青海 康男	① 1/11(水)	19時～21時 NPO会計と、NPO法人会計基準についての詳しい説明。 団体の事業と科目などを洗い出す。※自団体の決算書を持参。これから設立の団体は予定される事業を用意する。 団体の決算書を次年度から使える「活動計画書」「注記」に作りこむ。 ※ノートPCを持ってこられる方はエクセルで作業。 持ってこられない方は書面に書き込み作業。
	中山 雅人	② 2/10(金)	
	中山 雅人 青海 康男	③ 3/ 7(火)	

お問い合わせ先 NPO法人 i-ねっと 〒920-0865 石川県金沢市長町1-3-40
TEL:076-232-6673 FAX:076-232-6674 E-mail:ishikawa@inetnpo.com

きりもりセミナーのホームページはこちら<http://inetnpo.com/npojuku/>